

# IT 活用実践事例

## 「Unit 4 Homestay in the United States」

中学校  
2年 / 英語

音声的理解と視覚的理解の結びつきを助ける写真資料提示の工夫  
実践者： 七ヶ浜町立七ヶ浜中学校 東灘 邦祥

### 1 学習の概要

#### キーワード

音声的理解と視覚的理解

Listening 活動

写真資料の提示方法

デジタルペン

#### IT 活用のポイント

Listening 活動における ALT の発話内容を写真資料で補填し、デジタルペンで補足することで下記のような効果が期待できる。

写真により ALT 会話内容の理解が促進され、他国の文化に対する理解が深まる。  
デジタルペンで ALT 発話内容を文字化することで、音声的理解と視覚的理解の結びつきが図られ、文法事項定着につながる。

#### 単元名

「Unit 4 Homestay in the United States」

#### 単元の目標

- ・ホームステイの体験談から外国の生活について関心を持ち、誰とでもコミュニケーションを図ろうとする。
- ・have to・must・willなどの助動詞を使って、身近な事柄を的確に表現し、理解することができる。

#### 本時の学習

- ・have to・must・willのまとめとして生徒間のListening活動を行う。

#### 本時の目標

- ・英語を用いて、級友と積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
- ・ALT・級友の発話を正しく聞き取れ、助動詞を踏まえ内容をきちんと理解することができる。

#### 本時の活用コンテンツ

- ・Listening 活動における ALT 発話内容の補足写真資料提示とデジタルペンの活用
- ・OS / Windows XP
- ・ソフトウェア / PowerPoint

#### 補助資料

- ・課題プリント
- ・テキスト New Horizon English Course 2
- ・英語学習ノート

#### 単元計画（5時間扱い）

##### 1 時間目(Starting Out)

- ・ホームステイのガイドブックを読み、ホームステイについて知り、考える。
- ・have to/ do not have to を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。

##### 2 時間目(Dialog)

- ・教科書の本文に沿って暗唱する。
- ・will を用いた文の形・意味・用法を理解し、それを用いて簡単な対話をする。

##### 3 時間目(Reading for Communication 1)

- ・誠意を込めて率直にかつ丁寧に自分の意思を伝えることの大切さを知る。
- ・must を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。

##### 4 時間目(Reading for Communication 2)

- ・ホストファミリーという立場で家族の一員になるということはどういうことかを知る。
- ・must not を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現する。

##### 5 時間目(まとめ)・・・本時

- ・級友の発表を聞いて、助動詞の使い方に留意しながら内容を理解する。
- ・級友に分かるように、自分の身の回りのことについて、助動詞を用いながら表現する。

#### 本時の学習（分）

##### 学習活動

##### 指導上の留意点

- 1 Easy Conversation  
基本的な英会話をクラス全体で行う。

- ・英語を多く使い、慣れさせ、意欲を喚起する。

- 2 Listening Q&A  
ALT の話を聞いて内容を理解し、Q&Aで確認する。

- ・助動詞に留意し、適切に内容を捉えさせ、他国文化への関心を引き出す。
- ・生徒の理解を深めるために、写真資料を提示し、デジタルペンで音声的理解と視覚的理解の結びつきを図る。

- 3 Presentation  
自分の身の回りのことについて助動詞を用いながら、英語で発表させる

- ・自分の身の回りの紹介英語を発表させ、他生徒は内容を的確に理解させる。

- 4 Writing

- ・自分のことについて英文を書かせる。

## 2 実践のポイント！

### 音声的理解と視覚的理解

英語は言語であり、第1に音声から身に付けることが効果的である。そのため音声による授業の展開が現代の英語教育には求められ、また、生徒の音声的理解を促すために言語活動をより多く取り入れることが求められている。

しかし、言語活動中心に授業を展開することにより、音声的理解は図られるが、Reading・Writingの理解が深まらないことが、課題として挙げられている。

そこでこのE-黒板を活用することによって、写真資料の提示に合わせて、文法事項を文字として視覚的に印象づけることにより、定着が一層深まると考え、本授業を実践した。

### 写真資料の提示方法

Listening活動の理解を引き出す補助資料として写真資料をE-黒板を用いて提示する。ALTの発話に合わせて関連する写真をプレゼンテーション形式に提示することで、ALTの発話内容を的確に理解することができると思われる。

また、ALTと写真を同じ目線で見ることができるところから、集中して話しに耳を傾けることができ、発話内容の理解に努めることができる。

他国の文化を理解し、コミュニケーションを図ろうとする姿勢育成のためにも、生徒の興味・関心を引き出す資料活用は重要で、E-黒板を用いた提示方法を工夫することが求められる。

### Listening活動

英語を学ぶ上で何より効果的なものとしてListening活動が挙げられる。ALTの本場の英語を聞くことによって、英語に馴れることができ、英語学習に対する姿勢を高めることができる。

そのListening活動における理解を引き出す効果的な方法として、資料の提示・ジェスチャー・ボディラングエッジなどがある。耳から入った情報を視覚的な情報で捕捉することで、理解が深まり、分かる喜びを感じることができる。分かる喜びを感じることによって次の学習への動機付けとなり、自主的に学習に励むことができるようになる。

このようにListening活動で達成感を味わわせることにより、英語に対する関心も引き出せる。

### デジタルペン

Listening活動中にデジタルペンで文法事項を文字化していく。

E-黒板で写真資料を提示する際、その内容を英文で文字として表すことにより、分法事項の定着が図られると考えている。

音声的理解と視覚的理解をデジタルペンを用いて結びつかせることにより、その後のReadingやWritingにおける効果が期待される。

## 3 子どもたちは？

### 子どもの姿

ALTとのコミュニケーションに対し積極的な生徒達は、さらに強い関心を持ちながらListening活動に取り組んでいた。特に写真資料を提示した際は、他国の文化を視覚的に理解でき、興味を深めていた。写真により、他国の生活を知ることができて、自分の生活を見直し、考えるきっかけにもなっていたようである。デジタルペンで文法事項や習熟困難な英単語を文字化したことにより、Reading分野での理解が深まり、ほとんどの生徒が正しく発音できるようになった。今後も資料提示の際などはこのE-黒板を進んで活用したいと思う。

### 子どもの声

「写真に直接字が書かれたので、分かりやすかった」

「他国の生活がALTの先生の説明や写真で知ることができた」

「画面に直接文字が書けるので、自分の生活を紹介する時に使ってみたかった」

授業後、上記の様な声が聞かれた。英語学習に対する関心をE-黒板という教材を使うことで高めることができた。

